

お問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 寺井 博

電話 052(661)1611 内線 2510

平成24年8月23日

スマートフォンでも海岸防災情報提供開始

～ 油流出事故対応のためのESI情報(※)の提供 ～

海上保安庁では、油流出事故現場で速やかに保護すべき海岸の情報を、スマートフォンでも見ることができるようにしました。

沿岸海域においてタンカー事故等の油の流出を伴う事故が発生した場合、海岸に油が漂着すると環境に深刻な影響を及ぼすことから、国や地方公共団体、漁業関係者等は連携し、迅速・的確に油の除去等の措置を行う必要があります。

海上保安庁では、砂浜、礫浜等の海岸の性状や植生の有無等に応じて全国の海岸を色と数字で10段階にランク付けし、漂着油から優先的に保護すべき海岸を判断するための情報(ESI情報)を提供してきました。

従来は印刷物やパソコン向けのインターネットサービスを通じてESI情報を提供してきましたが、関係者が現場で速やかに情報を把握し、よりの確な措置を講じることができるよう、8月1日からスマートフォン向けのESI情報の公開を開始しました。

事故の発生時だけでなく、沿岸海域の環境保全を計画的に進めていく上でも役立つことを期待しています。

大規模流出油関連情報(スマートフォン版)：

http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNet_mobile/top.htm



<主な機能>

拡大及び縮小、ESIのランクや付近の写真の表示、現在地の表示(スマートフォンのGPS機能利用)

※ESI：環境脆弱性指標(Environmental Sensitivity Index)

●ESI情報の活用事例：

フェリー「ありあけ」熊野沖船体傾斜海難油流出事案

平成21年11月13日午前5時25分頃、フェリー「ありあけ」から海上保安庁に、船体が45度くらい傾斜しているとの救助要請あり。燃料油を流出していることから、流出油の漂流予測を行い、その漂流予測結果をESI情報図に重畳させ、漂着予想位置及びその海岸の性状を確認するなどに活用。

スマートフォンでのESI情報 表示例



スマホのGPS機能により、
現在地周辺の地図が表示
され、海岸線の性状が色分
けされて表示される。

海岸線をタップすることで、
海岸の写真が表示される。



ESI情報



色分けにより海岸線性状を説明